

文教厚生常任委員会資料
2019年（令和元年）9月24日
こども局待機児童緊急対策室 こども局こども育成室

待機児童解消に向けたさらなる取組みについて

本市では、平成28年度から待機児童解消に向けた緊急対策を行い、約3,700人の受入枠を確保してまいりましたが、就学前人口や保育所利用希望者の大幅な増加により、平成31年4月1日現在で412人の待機児童が発生しています。

このような状況の中、今年度の1,200人の受入枠の拡充計画に加え、令和2年10月までに300人の整備を行う計画を立て、今後の保育ニーズにも対応できる受入枠の拡充を図り、待機児童の解消に取り組んでいるところですが、今年度から令和2年度にかけてさらなる待機児童対策として500人上乗せし、2年間で2,000人の拡充計画を立て、以下の取組みを行います。

1 都市公園を活用した施設整備（令和2年から令和3年4月開園予定）

公有地として、待機児童の多い地域の中から施設整備が可能である以下の公園を活用した整備を行います。

場所	中崎遊園地	松が丘公園	上ヶ池公園
面積	約1,500㎡	約1,000㎡	約1,000㎡
定員	150人	130人	130人

<整備概要>

- ・事業者の募集：公募方式により事業者を選定。
- ・使用期間：公園管理者が10年単位で事業者の占用許可をし、その後更新も可能。

2 早期開園促進補助の創設（令和2年10月まで開園限定）【予算額：2～3か所 60,000千円】

一刻でも早い受入枠の拡充を実現するため、今後の施設整備において、令和2年10月までに開園する保育所について、施設整備費の上乗せ補助を行います。

国基準	法人 25% 1/4	市 8.3% 1/12	国・県 66.7% 2/3
現行上乗せ	法人 12.5% 1/8	市 20.8% 5/24	国・県 66.7% 2/3
特例上乗せ	法人 5% 1/20	市 28.3% 17/60	国・県 66.7% 2/3

期間限定で施設整備費の法人負担が、1/8 ⇒ 1/20に！

3 公立幼稚園のさらなる活用

特に待機児童が多い0歳～2歳の受入枠を拡充させるために、公立幼稚園を活用して小規模保育事業所の整備を促進するとともに、幼稚園給食を実施するなど幼稚園の機能の充実を図ります。

(1) 幼稚園給食の実施【令和2年9月から全園実施】

下記(2)(3)を行うに当たって、保護者の負担軽減を図り、より連携先として選ばれやすくするための強化策の一つとして、民間を活用した外部搬入方式による幼稚園給食を実施します。

(2) 公立幼稚園内小規模保育事業所の設置【令和2年9月頃】

公立幼稚園で余裕教室が一定数存在する園を活用し、民間事業者が運営する小規模保育事業所を3か所設置します。設置した施設の連携先として当該幼稚園を位置付けます。

(3) 公立幼稚園を連携施設とした小規模保育事業所の設置【令和2年4月】

公立幼稚園を連携先に位置付けた小規模保育事業所（5か所）を整備する事業者を募集します。

(4) 預かり保育事業の時間の延長【令和2年4月】

現在全ての市立幼稚園で実施している預かり保育の保育時間について、ニーズのある園について8時から18時までに延長します。

(5) 3歳児保育の拡充【令和2年4月】

幼児教育・保育の無償化により、就労世帯及び在宅世帯の3歳児の利用希望者が増加することが見込まれることから、余裕教室があり申込希望者が多い園の3歳児枠を拡充します。

【幼稚園活用スケジュール】

年	月	内容			
		幼稚園内小規模	幼稚園連携小規模	3歳児保育拡充	幼稚園機能強化
令和元年	9	関係機関説明	事業者公募・選定		預かり保育 時間延長準備
	10	事業者公募	補助申請		幼稚園 給食準備
	11	事業者選定		園児募集	
	12	移行準備	入札⇒工事着工		
令和2年	1				
	3	外構工事	竣工、認可		
	4	設計	事業開始	事業開始	事業開始
	5	入札			
	6	工事着工			
	7				
	8	竣工、認可			
9	事業開始		事業開始	全園事業開始	

4 予算措置

1及び2については令和2年度予算で、3については令和元年度又は令和2年度予算で議案として提出予定。